「こだわりの宿」32軒を紹介 特集

群馬県・猿ヶ京温泉

豆腐懐石 猿ヶ京ホテル

素朴で温かな雰囲気づくり

白い手の猿が大やけどの子どもを治したことが始まりといわれる、群馬県の猿ヶ京温泉。関東～新潟の交通の要衝だった「三国峠」に近く、上杉謙信もその湯に浸かったといわれるこの温泉地で人気なのが「豆腐懐石猿ヶ京ホテル」（持谷明宏社長）だ。料理に加え、女将ら「語り部」が囲炉裏端で語る民話も名物として名高い。

客室 館内設備

落ち着いた空間ともてなしが好評の同館は、露天風呂付きの特別室や和室のほか、ツイン室や和洋室などバリエーション豊かな部屋を備えている点も特徴。年配客や女性グループ、家族連れなどさまざまな客層に対応している人気の理由だ。

このうち12部屋ある和洋室は今年5月に全面リニューアル。ベッドには新たに羽根布団を使った「デュベスタイル」を採用し、就寝時の快適性にこだわった。また各部屋トイレのドアを引き戸にしたり、32型の液晶テレビを導入したりするなど、多くの宿泊者により心地良く過ごしてもらえるようにした。

「地元の優れたものを訪れた方に紹介するのが宿の使命」と話す持谷社長。館内に民芸調の家具や絹織物で有名な桐生市の糸車を飾るなど、猿ヶ京の素朴で温かな雰囲気を感じながらくつろいでもらえるよう工夫に余念がない。

7月には客室を中心に館内装飾を一新。三国街道で猿ヶ京とつながる新潟県小千谷市の「小千谷ちぢみ」を、テーブルライナーやタペストリーなどに採用した。ちぢみのやさしい風合いが、柔らかで素朴な雰囲気を演出する。

また最上階にある14畳の広々とした和室には、広縁にミズナラ材でできたテーブルセットを置いた。同県内の木工作家に特注したというこだわりの品は、オイル仕上げで木のぬくもりを感じられるものだ。

宿のきめ細かな雰囲気作りは、静かにゆったり過ごしたい女性客の心を確実につかんでいる。

▽猿ヶ京ホテルは群馬県利根郡みなかみ町猿ヶ京温泉1171。☎0278・66・1101。http://www.sarugakyo.net/main/index.html

赤谷湖畔に位置する同館

改装した柔らかな雰囲気の和洋室

静岡県・稲取温泉

いなとり荘

選べる御造りが好評

静岡県・稲取温泉のいなとり荘（村木千之助社長）は、全室海に面した客室や8階建ての温泉専用棟、旬の食材を使った料理など魅力が多い宿だが、特に料理にはこだわりと自信を持っている。

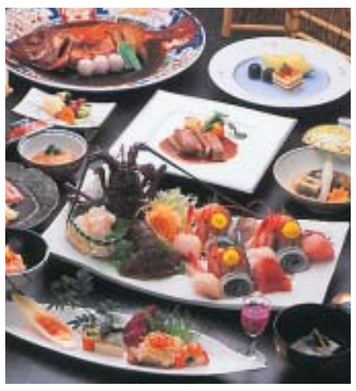
料理 食事

夕食は、旬の魚5種類から1種類を客に選んでもらい御造りにするサービスが好評だ。素材は、朝、稲取近海で採れた海の幸。メーン料理も同様に伊勢海老、和牛など季節変わりのグリル料理4種類から選べると人気が高い。

朝食は和洋中50種類のバイキング。中でもパンは自家製の焼きたてで評判がいい。クロワッサン、レーズンパン、ハムチーズパン、紫芋パンなど約6種類を用意する。

ゆっくりしたいという宿泊客の要望にこたえチェックアウトは正午12時。心配りも忘れない宿だ。

▽いなとり荘は静岡県賀茂郡東伊豆町稲取1531。☎0557・95・1234。http://www.inatoriso.com/


地元の旬の海の幸を使った夕食

山梨県・富士河口湖温泉郷

若草の宿 丸栄

「宿は舞台、私たちは役者」

従業員の接客の良さが高い評価を受けているのが山梨県・富士河口湖温泉の「若草の宿丸栄」（渡辺昭夫社長）だ。「宿は舞台、お迎えする私たちは役者」という考えのもと、日々の従業員教育に力を入れている。

接客 サービス

あるサイトのクチコミ情報に、丸栄の接客サービスについて次のような感想が載っていた。

「写真を撮ろうとした時、近くまで駆け寄ってきて『お撮りしましょうか』と写真を撮ってくれた。外出する時も、近くにいた仲居さんが整列して1回1回あいさつしてくれた。若い人たちが多いのに、礼儀正しく上品で、教育がしっかり行き届いている感じがした」

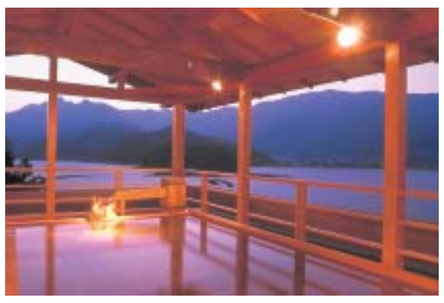
宿泊客のチェックイン（開演）からチェックアウト（カーテンコール）までを1回の舞台公演に例え、その中で「従業員（役者）はマニュアル（台本）通りの動きに加え、それ以上の接客サービス（アドリブ）でお客様を満足させる」ことを目指す。

そのため従業員教育には特に力を入れる。「基本が分かっていないと応用はできない」という信念のもと、接客マニュアルを日夜改善し、それを徹底的に仕込むが、マニュアル人間にならないよう、現場での実践指導も怠らない。また、短期間で即戦力に仕上げるために、研修では進行シートを用いて、学んだことの理解度や習熟度をその都度把握させ、週1回ペースでチェックしていく。

「旅館には衣食住を提供し、さらにお客様の命をお預かりする責務がある。お客様に『この人なら任せて大丈夫』と安心していただけるところまで接客サービスのレベルを高める」と目標を高く掲げる。

「人（お客様）が人（従業員）に癒される宿を目指しており、喜ばれることに喜びを感じるスタッフの成長を見るのが一番嬉しい」と同館はいう。

▽若草の宿丸栄は山梨県南都留郡富士河口湖町小立498。☎0555・72・1371。http://www.maruei55.com/


湖（うみ）の湯

豪壮アルプスの湯

静岡県・観音温泉

観音温泉

飲泉、自家源泉かけ流しの秘湯

体に染み透る泉質

超軟水の強アルカリ源泉に恵まれた「飲泉、自家源泉かけ流しの秘湯・観音温泉」（鈴木和江社長）。すべすべした肌合いの泉質は体に染み透り、入浴のほか飲用にも適している。山間に佇む宿は体も心も癒してくれる。

温泉 浴場

本館（17室）は昨年8月にリニューアルしたばかり。このうち12室は、浴槽から床、天井に至るまで檜を贅沢に使った半露天風呂付き。さらに2室は3世代の家族客に対応した部屋で半露天風呂に加えて足湯もあり、オープン以来人気を呼んでいる。本館のほかにも新館と離れを備えている。

観音温泉は健康、美容への効能で注目されている。体調が整い、肌がつるつるになると評判。飲用ではペットボトル入り「飲める観音温泉」を商品化し、東京メトロの売店などでも販売中だ。

▽観音温泉は静岡県下田市横川1092―1。☎0558・28・1234。http://www.takinogawa.net/onsentop.html

本館客室に設置の半露天風呂

静岡県・かんざんじ温泉

ホテル九重

自家源泉の「天然療養温泉」

静岡県浜名湖畔、舘山寺（かんざんじ）温泉を代表する宿が遠鉄グループのホテル九重（竹山英夫社長）だ。遊覧船、ロープウェイ、遊園地パルパルなど周辺に多くの観光施設があり、観光の拠点として、年中多くの客でにぎわっている。

温泉 浴場

同ホテルの特徴は自家源泉を持っていること。そして、温浴施設が充実していることだ。

温泉はホテルの敷地内、地下1850㍍からわき出ている天然の「療養温泉」だ。この療養温泉とは、有効成分の基準をクリアして「温泉」に指定されたものを、さらに厳しいふるいにかけたもので、通常の温泉より医療的な効果が一層期待できるという。源泉の温度は41・6度で、泉質は「ナトリウム・カルシウム塩化物温泉（食塩泉）」。ミネラル成分が肌に入りやすく、体にたまった老廃物を排せつするという。

館内の大浴場は2カ所で、男女入れ替え制。いずれもこの療養温泉を、加水せずに使っている。

大浴場「遠州絵巻の湯」は、安藤広重の浮世絵の世界を繊細優美なガラス絵で表現した、純和風空間。日本3大美林のひとつ「天竜杉」を使った7つの内湯のほか、舟形のかけ流し露天風呂、鍾乳石の露天風呂を持つ。

大浴場「大正浪漫の湯」は、クラシカルモダンなステンドグラスを窓と天井に配した大正ロマン風のおしゃれな浴場。日本初という天然鉱石を使った風呂をはじめ、8つの内湯を持つ。

このほか貸し切りの個室風呂と露天風呂、足湯を備える。

さらに姉妹館の遠鉄ホテルエンパイアの「ダイダラボッチの湯」も、同ホテルの宿泊客は利用できる。

温泉自慢の同ホテルは料理自慢でもある。浜名湖の新鮮な魚介類を中心にメニューをそろえ、いけす割烹、個室料亭、宴会場など、旅のスタイルに合わせて好みの会場を選んで食べてもらう。

▽ホテル九重は静岡県浜松市西区舘山寺町1891。☎053・487・1112。http://konoe.entetsu.co.jp/

遠州絵巻の湯

ホテル九重の外観

富山県・宇奈月温泉

延楽

名水が育む海と山の幸

全客室から清流日本一に輝いた黒部川を眺めることができる富山県、宇奈月温泉の「延楽」（濱田浩志社長）。延楽では黒部川の名水が育んだ海と山の幸をふんだんに使い、四季折々の料理を提供する。名水から生まれた「せせらぎ料理」は富山湾の海と山の恵を生かしたこだわりの料理プラン。自然の恩恵は体と心に潤いを与えてくれる。

料理 食事

せせらぎ料理プランは、黒部川の伏流水を含んだミネラル豊富な魚介類や風味ある名水豆腐を素材に献立メニューを考える。特に、豆乳と名水ポークを仕立てたしゃぶしゃぶは人気の逸品。食材の源となる名水が、一品一品の料理のおいしさを引き立たせる。調理長は舌で味わう喜びだけでなく、目に映る華やかさまで丹念に料理を仕上げていく。

▽延楽は富山県黒部市宇奈月温泉347―1。☎0765・62・1211。http://www.enraku.com/

名水ポークのしゃぶしゃぶ

岐阜県・飛騨高山温泉

高山グリーンホテル

大切な人と極上の時間を

大切な人と極上の時間を過ごしてほしい想いで高山グリーンホテル（新谷尚樹社長）は今年の春、贅を極めたフロアを新たにオープンした。飛騨高山を感じてもらえる一工夫が随所に施された「天領閣別邸プレミアムフロアズ」。北アルプスを借景にした客室で一般の客室とは一線を引き、格式高い部屋とサービスを提供する。ホテルにたどり着いた瞬間からゲストの上質な旅が始まる。

客室 館内設備

プレミアムフロアズは一般客とは異なる、専用フロントやロビーを設けている。待ち時間なく、快適にプレミアムフロアズに導くサービスが充実。プレミアムフロアズには誰もが立ち入れる訳ではない。上質なサービスを求める客のみ、和館本館7階～9階を利用できるのだ。全18室50人収容の客室は、8種類のコンセプトルームとなっている。例えば、最上階にある露天風呂付特別和洋室は曲げ木の座イスや飛騨春慶など飛騨の匠の技が部屋の所々で見られる。特注で造った信楽焼の露天風呂で、北アルプスや飛騨の里山を眺めながらの入浴は贅の極み。

客室にはデラックスツインルーム以外の全客室に露天風呂が付く。D字型となっているバスタブはこしかけて北アルプスを眺められるように、工夫を凝らした。音に反応する揺らぎ灯籠が心地よく照らし、入浴中のリラックス効果を高める。

高山グリーンホテルは今年、開業35周年を迎え、7月5日に全線開通した東海北陸自動車道を通る周遊型観光の弾みに期待し、プレミアムフロアズのオープンに至った。交通の利便性が向上し、北陸の名旅館と連泊する客が増える動きを見据え、新谷社長は「きめ細かなおもてなしを強みに、サービスの質を求める客の要望に応えていきたい」と富裕層向けの誘客に意気込みを語る。

▽高山グリーンホテルは岐阜県高山市西之一色町2―180。☎0577・33・5872。http://www.takayama-gh.com/

エレベータホール前には春の高山祭が描かれたステンドアート

別邸和室

石川県・輪島ねぶた温泉

海游 能登の庄

輪島塗の器で旬の食材

「海游 能登の庄」（大向洋紀社長）では、能登の旬の味を輪島塗の漆器で堪能できる。地元の食材を知り抜いた板長が腕をふるう創作懐石料理「能登味彩」と、囲炉裏を切った個室で楽しめる炉端料理が選べる。

料理 食事

四季を通じて新鮮な海の幸が並ぶ。夏は貝類が豊富でアワビ、サザエ、シタダメなど。囲炉裏で火を通すアワビの踊り焼きも絶品。9月に入ると底引き漁が始まり、ヒラメなどが揚がる。秋以降は、地元で「加能ガニ」と呼ぶズワイガニ、寒ブリがうまい。冬場はカジメ、ジンバソウ、アオサなどの海藻を鍋やしゃぶしゃぶにする郷土料理がヘルシーだと評判だ。

輪島市内には小さな酒蔵が5つあり、都市部に出回らない銘酒も。「能登の味を地酒と地の器で楽しめる贅沢を満喫してほしい」（大向社長）。

▽海游 能登の庄は石川県輪島市大野町ねぶた温泉。☎0768・22・0213。http://www.notonosho.co.jp/

輪島塗の器で海の幸を楽しめる